

ミライバレーコンソーシアム 2025年度 活動報告

2026/7/6
第3回ミライバレーコンソーシアム総会詳細資料
2026/7/8
総会后編集



① 本コンソーシアムについて

目的、ビジョン、背景
取り組みテーマ

② 2025年度活動報告

サマリー

活動成果、活動一覧、エビデンス、会計報告、会員一覧
活動トピックス 1～10

③ 2026年度について

活動目標、活動計画、予算計画

① 本コンソーシアムについて

日本型イノベーション・エコシステムの形成と 地方創生を実現

- ・地方がより良くなることを第一に
- ・医療、健康、ライフスタイル等の分野における新しい行政サービスの創造
- ・地域の成長に貢献する産業の創出

我が国全体の社会課題の解決に貢献

- ・地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

ミライバレーコンソーシアム

産学官民連携によるイノベーションで地方創生

① 目的

日本型イノベーション・エコシステムの形成と地方創生を実現

- ・地方都市が良くなることを第一に !!
- ・医療、健康、ライフスタイル等の分野における新しい行政サービスの創出
- ・地域の成長に貢献する産業の創出

我が国全体の社会課題の解決に貢献

- ・地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

② 体制



協定等による連携

自治体・施設

幹事組織
名古屋大学
未来社会創造機構
医学系研究科

企業 非営利団体 研究者

ミライバレーコンソーシアム

連携自治体・施設



新城市 淡路市

AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

自治体・施設が抱く地域課題・ビジョンを、産学官民が連携して企画を検討・実施

③ メリット

- ・オープンイノベーションを大学が牽引（国プロジェクトとの連動・連携）
- ・名古屋大学の研究力（医療・健康・ライフスタイル）
- ・テーマのマッチング成立後、自治体との連携
- ・コンソーシアムに参画している産学機関とのつながり

④ 問い合わせ先

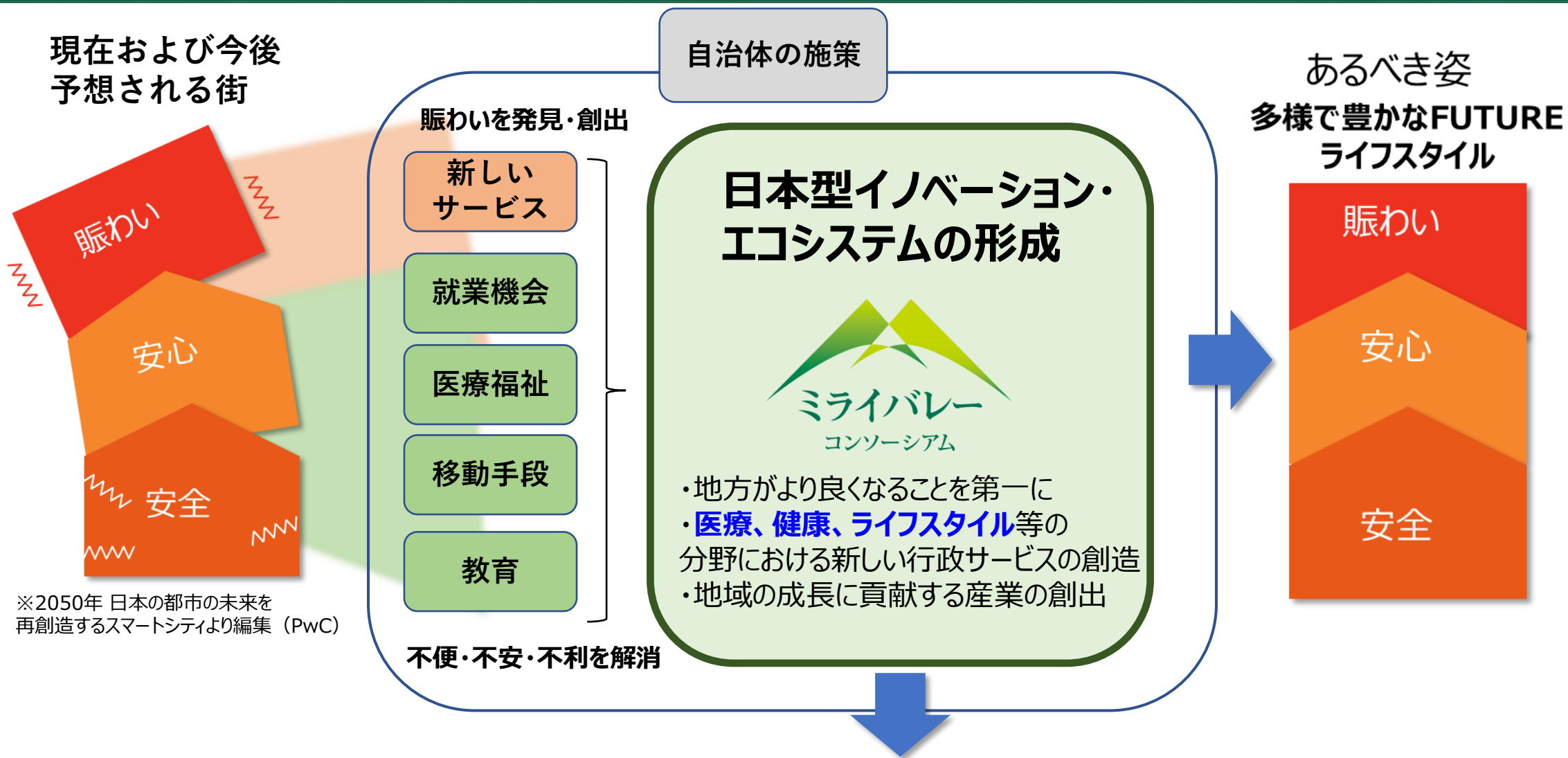
ミライバレーコンソーシアム事務局 OMV@mirai.nagoya-u.ac.jp



<https://mirai.omv.aichi.jp/>



① 本コンソーシアムについて： ビジョン



地方都市や中山間地域に適用できるソリューションを全国に展開

地方が抱える3つの「不」（不便・不安・不利）

5万人以下の小規模地方都市(1191市町村)と大規模都市（100万人以上）(12市町村) 比較

就業機会

1/8（商業事業率）

医療福祉

1/2（医師の比率）

移動手段

3.5倍（自家用車依存度）

教育

1/2（教師の比率）

都市部に対し「**就業機会**」「**医療福祉**」「**移動手段**」「**教育**」が不足

小規模地方都市の特性

- ・日本全国の **7 割** の自治体数、**6 割** の国土を占有
- ・高齢化率、自家用車負担率が高い
- ・商業事業率、医師供給率、教師供給率が低い

都市 類型	概要	分析上の定義					全国に占める比率			
		人口	商業 事業 率 (A)	自家用 車負 担 率(B)	医師 供 給 率 (C)	教師供 給率 (D)	人口	面積	高齢 化率 (年少 率)	自治体 数
小規模 地方都 市	過疎市町村 (大まかな基準) 人口減少率約 20%以上/40 年、高齢者率 35%以上、若 年者比率11% 以下	5万 人 以下	30. 5%	71.3 %	60. 9%	61.7 %	7.3% (928 万人)	51.1% (19073 9km ²)	38.3 % (10.1%)	41.4% (712市 町村)
	地方の郊外 地域 小規 模都市		43. 3%		74. 3%	92.0 %	8.4% (1067 万人)	11.7% (4362 9km ²)	30.2 % (12.4 %)	28.4% (489市 町村)
自家用 車中心 中規模 都市	地方の県庁 所在地 企 業城下町 周辺のベッド タウン等	5~ 100 万人	58.9 %	50% 以上	96.5 %	108.1 %	37.0 % (4697 万人)	35.4% (1320 70km ²)	27.9% (12.5 %)	20.2% (348市 町村)
公共交 通普及 中規模 都市	三大都市圏 近郊のベッド タウン 地方 大規模都市 等			50% 未満			24.0 % (3055 万人)			9.4% (162市 町村)
大規模 都市	政令指定都 市 特別区	100 万人 以上	247. 9 %	18.5 %	130. 4%	122.3 %	23.5 % (2990 万人)	1.7% (6511k m ²)	23.6% (11.9 %)	0.7% (12市 町村)

※[参考] 官民ITS構想・ロードマップ2020（首相官邸）
(B) 平成22年度国勢調査より引用、
内閣官房情報通信技術(IT)
総合戦略室作成

※[参考] 過疎市町村の数、人口・面積
(令和3年4月1日現在)
「全国過疎地域連盟」

※[参考] デロイト調査資料 2021/07
(A) 「人口ひとりあたりの商業年間商品販売」
全国平均を100とした場合の割合
(C) 「人口1,000人当たり医師数」
全国平均を100とした場合の割合
(D) 「1校当たり小中学校教員数」
全国平均を100とした場合の割合

地方創生には、
小規模地方都市の
環境作りが必要

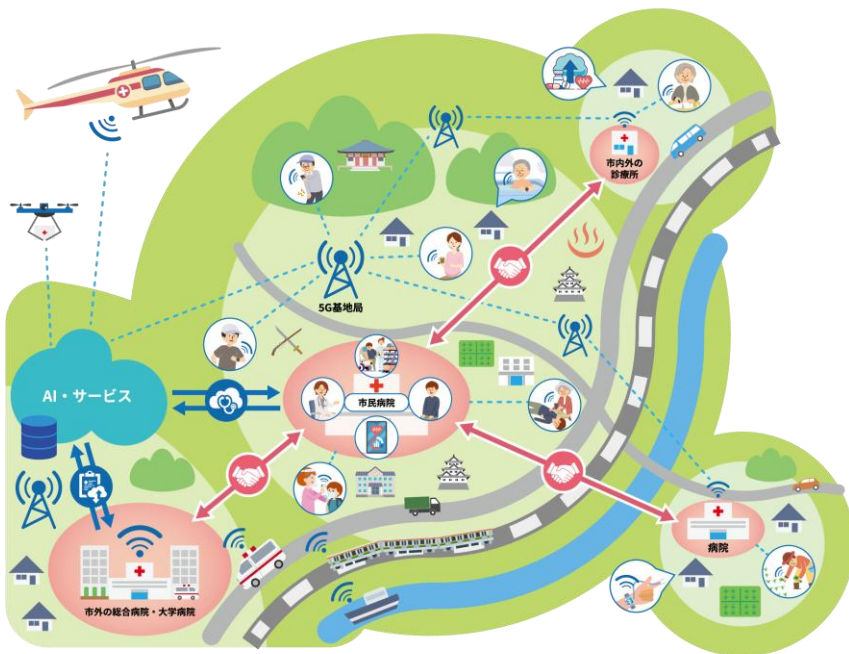
医療福祉

教育

テーマ 1-1

【スマートに繋がる医療】

いつでもデータを見てもらって**安心**な医療が受けられる



【名古屋大学】 *山本美知郎 教授

大山慎太郎 准教授

【コンソ会員】大成建設、ニプロ、国立がん研究センター
名古屋工業大学

【自治体】新城市

【助成】健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点(C-REX)2025

持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業（FORWARD）2025

テーマ 1-2

【施設内で健康促進】

施設全体を「**ロボット化**」し、その補助により自然のうちに、**健康的で主体的な行動**に変わる



【名古屋大学】*下田真吾 特任教授

平田仁 特任教授

【コンソ会員】 豊田合成

【施設】イオンモール Nagoya Noritake Garden

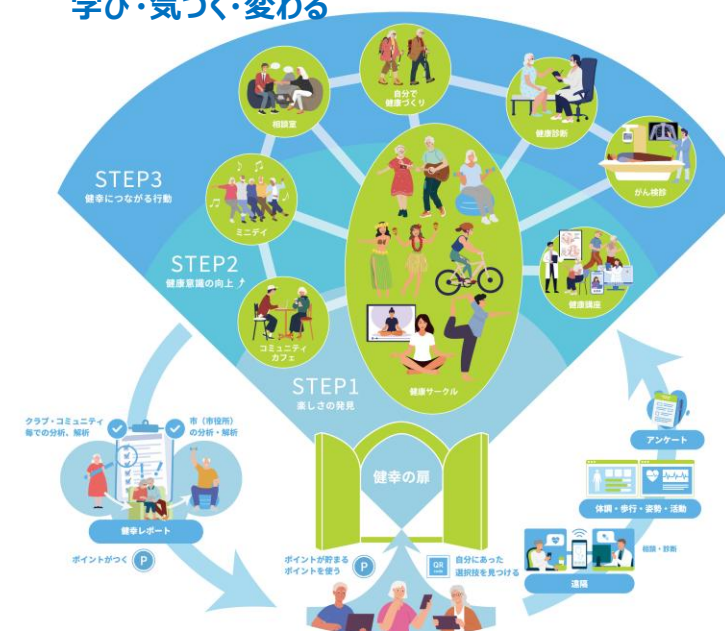
【助成】 MOONSHOT 2023-2025

主体的な行動変容を促すAwareness AI ロボットシステム開発

テーマ 1-3

【未来の公民館】

健幸の扉を通じ選択肢を増やし、何より**楽しさ**から健康を
学び・気づく・変わる



【名古屋大学】*大山慎太郎 准教授

吉川正 特任准教授

【コンソ会員】

【自治体】新城市

① 本コンソーシアムについて： 取り組みテーマ

就業機会

教育

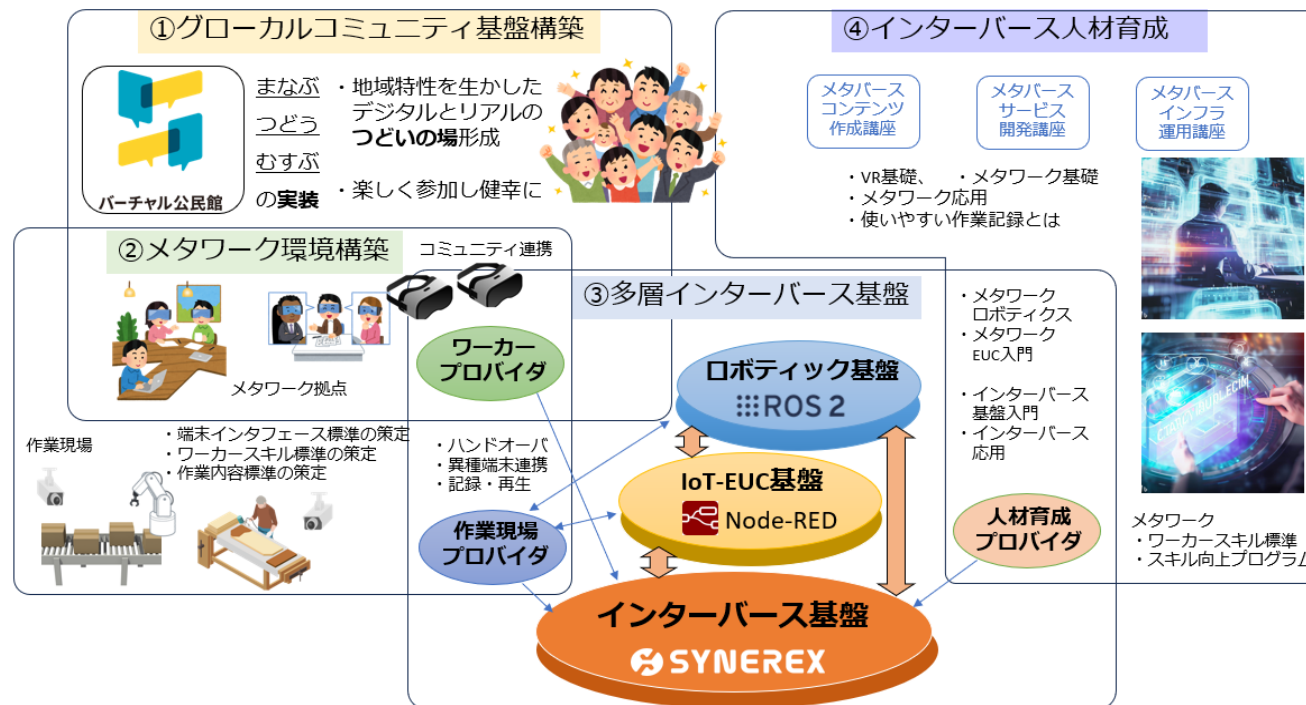
テーマ2-1

【グローバルインターバース基盤】

地域活性化を目的として、地域に「新たな働き場所」としての「メタワーク拠点」を構築

*...PL

地域活性化のためのグローバルインターバース基盤の研究開発



【名古屋大学】*河口信夫 教授

【コンソ会員】TTDC、技研サービス

【自治体】新城市

【助成】戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期 2023-2027

地域活性化のためのグローバルインターバース基盤の研究開発

② 2025年度 活動報告

第3回ミライバレーコンソーシアム総会(2026/7/6) 第1号議案 報告

- ✓ ミライバレーコンソーシアム総会実施(2025/4/17)
24年度事業報告 25年度事業計画承認、役員選任
- ✓ **8法人会員・3個人会員**(2026/6現在)
- ✓ 愛知県新城市、イオンリタケ(愛知県名古屋市))中心の活動に新たに
スポーツタウン御殿場、台湾 国立陽明交通大学 IAPSと連携協定を結び活動を広げた
また今後の活動を踏まえ、7自治体・2施設とつながりを持った
- ✓ **エビデンス 講座7 実証3 ワークショップ3 外部資金2 論文26 発表13**
- ✓ 名古屋大学より社会課題から
「つながり」の機会・質を高める「地域の知AI」の取り組み企画・提案
⇒ **産学官民ワークショップで共有・議論し、テーマの磨き込みを実施**

基本活動項目の継続実施目標	KPI	結果	判定	特記事項
自治体の想いと連動したプロジェクトの 企画・実施	3件以上	3件	○	メタワーク企画・実証 見守り企画、ロケモニ企画
研究エビデンス 論文・学会発表	6件以上	26件	○	研究活動で得られた価値を積み上げ
ワークショップの開催	3件以上	3件	○	大学の想い、自治体の想い、民の考えを相互 理解し更なる進化
健康講座の開催	6件以上	7件	○	イオンリタケにて実施 サテライトで中東遠総合 医療センターも同時開催

重点実施項目目標	KPI	結果	判定	特記事項
外部資金獲得（学内内部資金含む） への挑戦	3件以上	4件	○	学外3件(内1件採択、1件ステージゲート通過) 学内1件(採択)
・賛同者集めの為の周知活動 ・コンソ会員へテーマ・役割確認	・メルマガ登録 50件以上 ・全会員	・16件 ・全会員	× ○	・メルマガは目論見に反し登録未達（継続） ・会員の役割とメリットの再確認を行い 相互理解が進んだ

日付	項目(場所)	テーマ 紐付	分類	内容(産学官)
4/17	ミライバレーコンソーシアム総会 (名古屋大学東山キャンパス)	共通	総会	24年度事業報告 25年度事業計画承認、役員選任 (名古屋大学・コンソーシアム会員)
4/27	みらい健康ラボ マンスリーイベント4月 (イオンリタケ)	1-2	講座	前かがみは危険信号！脳から読み解く姿勢と歩きの新常識 (名古屋大学)
6/15	みらい健康ラボ マンスリーイベント6月 (イオンリタケ)	1-2	講座	未来の診察室を体験しよう！！万博からの生中継も！？ (名古屋大学)
8/2	長篠陣太鼓保存会による伝統的な和太鼓演奏 (大阪・関西万博)	1-2	実演	和太鼓の鼓動と連動した、筋肉が波打ち、骨格がしなり、重心が移動する様子が裸眼 3Dディスプレイを通じてリアルタイムに表示 (名古屋大学) ※ムーンショット型研究開発事業
8/25-9/7	新しい働き方「メタワーク」の実証実験 (愛知県新城市、名古屋大学東山キャンパス、 プラネット愛知)	2-1	実証	VRゴーグルを装着して遠隔地のロボットアーム操作を通じて、“メタワーク(仮想空間での労働)”という新しい働き方の社会実装を目指す(名古屋大学、TTDC、愛知県新城市) ※戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期
8/31	みらい健康ラボ マンスリーイベント8月 (中東遠総合医療センター、 イオンリタケ)	1-2	講座	歩行とからだの痛みからわかる認知症リスク (名古屋大学)
9/23	静岡県御殿場市スポーツ祭 (静岡県御殿場市)	1-2 新テーマ	出展	空手大会動作解析を体験会に出展 (名古屋大学)
10/11	みらい健康ラボ マンスリーイベント10月 (イオンリタケ)	1-2	講座	健康寿命を延ばす歩き方 (名古屋大学)

日付	項目(場所)	テーマ 紐付	分類	内容 (産学官)
11/2	名古屋大学・新城市共催 講座・体験会「第2回 健康で楽しく過ごそう」(愛知県新城市)	1-1 1-2 1-3 2-1	講座	市民に、いろいろな『見える化』で学び・感じ・体験していただくイベント (名古屋大学、愛知県新城市、TTDC)
11/25	スポーツタウン御殿場ーミライバレーコンソーシアムで連携協定を締結(静岡県御殿場市)	1-2 新テーマ	契約	「空手のまちづくり」を起点とし、各種スポーツにおけるアスリートのパフォーマンス向上、市民のスポーツ習慣化、地域コミュニティや対外交流の活性化、スポーツを通じた健康増進、健康寿命延伸等を図る (ミライバレーコンソーシアム、名古屋大学、スポーツタウン御殿場)
11/30	「空手道 Mt. Fuji Jr. Championship in GOTEMBA」に体験ブース出展 (静岡県御殿場市)	1-2 新テーマ	出展	「からだの動き計測体験コーナー」として体験ブースを設置 (ミライバレーコンソーシアム、名古屋大学)
1/18	みらい健康ラボ マンスリーイベント1月 (イオンリタケ)	1-2	講座	腸は“もう一つの脳”あなたを支える小さな住民たち (名古屋大学)
2/14	ミライバレーコンソーシアム(HP)	共通	広報	リニューアル
2/14	名古屋大学による共有・議論会 (愛知県新城市)	共通	議論	新城市で開催するワークショップ「健康で楽しく過ごそう」の主旨・内容の理解と出展コンテンツの共有及び議論を通じて産学の今後のコラボの可能性を探索 (名古屋大学、愛知県新城市、ニプロ、ナックイメージテクノロジー、TTDC、名古屋工業大学、ミルウェル)

日付	項目(場所)	テーマ 紐付	分類	内容(産学官)
2/15	名古屋大学・新城市共催 講座・体験会「第3回 健康で楽しく過ごそう」(愛知県新城市)	1-1 1-2 1-3 2-1	講座	市民に、いろいろな『見える化』で学び・感じ・体験していただくイベント(名古屋大学、愛知県新城市、ニプロ、ナックイメージテクノロジー、TTDC、名古屋工業大学)
3/13	台湾 国立陽明交通大学 IAPS－ミライバレーコンソーシアムで連携協定を締結	1-2 新テーマ	契約	スポーツ・デジタルヘルスの領域において相互支援を行う(ミライバレーコンソーシアム、名古屋大学、台湾 国立陽明交通大学 IAPS)
3/19	第3回産学官民ワークショップ (名古屋大学東山キャンパス)	1-1 1-2 1-3 2-1	講座	名古屋大学が提案するテーマ『「つながり」の機会・質を高める「地域の知AI」の取り組み』に対し産学官民で共有・議論を行い、「関係人口増による地域活性化にむけた具体的な地域の見える化方針と事業化案」を作成(計38名(産：15名(13企業)、学：12名(1大学)、官：7名(6自治体)、民：4名))
3/20	みらい健康ラボ マンスリーイベント3月 (イオンリタケ)	1-2	講座	測ってAI診断!医師と考える、AIで支えるみんなの健康(名古屋大学)

日付	項目(場所)	テーマ 紐付	分類	内容（産学官）
2025年度	持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業FORWARD	1-1 1-3	助成	EnOcean、BLE、Private LoRa、スマートメータ回線網を各通信方式の利点に応じて適宜活用し、統合・共用利用可能とすることで、日常生活ログ収集を可能とする通信インフラを構築 2025年度新規採択(名古屋工業大学、名古屋大学)
	健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点C-REX	2-1	助成	2025年度学内採択（名古屋大学医学系研究科）
	戦略的イノベーション創造プログラムSIP 第3期 2023-2027	1-1	助成	地域活性化のためのグローバルインターバース基盤の研究開発（名古屋大学、愛知県新城市、TTDC） 2025年度ステージゲート通過
	自治体・施設とのつながり	1-1 1-2 1-3 2-1 新テーマ	活動	愛知県新城市、兵庫県淡路市、群馬県、静岡県御殿場市・磐田市、北海道旭川市、滋賀県東近江市、イオンリタケ（愛知県名古屋市）、中東遠総合医療センター（静岡県掛川市）

【論文】

- 1.Ningjia Yang, Xuesi Li, Qi An, Jingsong Li and Shimoda, Shingo, "Neuro-modulation analysis based on muscle synergy graph neural network in human locomotion", IEEE Transactions on Neural Systems and Rehabilitation Engineering, 2025
- 2.Hiroshi R. Yamasaki and Qi An and Koji Takahashi and Takanori Fujii and Ningjia Yang and Matti Itkonen and Moeka Yokoyama and Fady S.K. Alnajjar and Hironori Otomune and Noriaki Hattori and Ichiro Miyai and Shingo Shimoda, "Evaluating the impact of therapeutic handling on sit-to-stand movements post-stroke: Kinematic smoothness as a monitoring metric for recovery", Journal of Bodywork and Movement Therapies, Vol. 42, page 620-628, 2025
- 3.Takuro Yonezawa, "Towards Internet of Realities - Vision and Challenges", IEEE International Symposium on Emerging Metaverse (ISEMV), 2025, Honolulu, Hawaii
Kohei Matsumoto, Yoshiki Watanabe, Kaiya Shimura, Nozomi Hayashida, Shin Katayama, Kenta Urano, Nobuo Kawaguchi, Emanuel Leleito, Aoki Soko, Takuro Yonezawa "MetaUniTour: Enhancing Engagement and Intercultural Understanding through A Metaverse Tourism Platform", IEEE MetaCom 2025, pp.125-130
- 4.Kazuyuki Shoji, Haru Terashima, Naoki Tamura, Shin Katayama, Kenta Urano, Takuro Yonezawa, Nobuo Kawaguchi, Life Pattern-Based Human Attribute Estimation Using Only GPS Data, IEEE Access, Vol.13 pp.131803-131822
- 5.Otake Y, Kanaoka A, Aoki S, Osumi M, Yonezawa T, Sumitani M. "Optical flow visual stimuli induce body sway and visually-induced motion sickness in virtual reality system: A preliminary study." Digit Health. 2026 Jan 30;12:20552076261420289. doi: 10.1177/20552076261420289. PMID: 41623718; PMCID: PMC12858775.
- 6.米澤拓郎, "社会的孤立・孤独とモビリティ", 社会福祉研究 第154号, 2025.12
- 7.Tahia Tazin, Tahera Hossain, Keiko Yamashita, Tamaki Kinoshita, Benjamin Tag, Shintaro Oyama, Takuro Yonezawa, Flora Salim, "Feel the Pain: An Interpretable Multimodal Approach for Physiological Signal-Based Pain Detection", The Fifth International Workshop on Automated Assessment of Pain (AAP 2025) in conjunction with ACM ICMI, 2025 (2nd Prize Winner)
- 8.Tahera Hossain, Mohammad Saiedur Rahaman, Keiko Yamashita, Kono Aoi, Ma Guowei, Oyama Shintaro, Takuro Yonezawa, "Quantifying Work-Stress in Surgical Intensive Care Unit Nurses: A Multimodal Activity-aware Physiological Analysis", ISWC '25: Proceedings of the 2025 ACM International Symposium on Wearable Computers. Pages 118 - 124

9. Identification of endometrial CD169+ macrophages essential for Treg cell accumulation and implantation. Ohki T, Miyawaki S, Higa T, Yamazaki H, Okaki H, Nakajima R, Kitamura K, Nakagawa MG, Sanosaka T, Tsugawa H, Honda K, Hirata A, Goto T, Handa M, Tokutake K, Saeki S, Yamamoto M, Watanabe K, Maeda S, Takasu M, Sugiura Y, Takiuchi T, Kohyama J, Suematsu M, Hirata H. Cell Rep. 2026 Feb 18;45(3):117040.
10. Patient- and disease-specific factors associated with atrophy of the intrinsic muscles of the ulnar nerve in cubital tunnel syndrome. Asano K, Iwatsuki K, Yokoyama H, Mabuchi M, Yamamoto M. J Orthop. 2026 Feb 3;75:12-16.
11. Clinical outcomes of percutaneous intramedullary headless screw fixation with an oblique technique for the treatment of proximal and middle phalanx fractures. Yokoyama H, Asano K, Yoneda H, Iwatsuki K, Mabuchi M, Yamamoto M. J Orthop Sci. 2026 Jan;31(1):119-125.
12. Depletion of CD169+ border-associated macrophages induces Parkinson's disease-like behavior. Ohki T, Kitamura K, Tokutake K, Saeki S, Yamamoto M, Takasu M, Hirata H. Front Neurosci. 2025 Dec 4;19:1688394.
13. Eyes and movement differences in unconscious state during microscopic procedures. Fujita A, Oyama S, Tatebe M, Shimoda S, Tokutake K, Yamamoto M, Hirata H. Sci Rep. 2025 Feb 25;15(1):6712.
14. Impact of COVID-19 Pandemic on Hand Surgery Volume in Japan. Yoneda H, Curley J, Iwatsuki K, Saeki M, Takahashi N, Yamamoto M. J Clin Med. 2025 Feb 24;14(5):1518.
7. Correlation between dorsal tilt and midcarpal alignment in distal radial fractures or malunions: a radiographic study. Saeki M, Yoneda H, Kano T, Yamamoto M. J Hand Surg Eur Vol. 2025 Oct 1;17531934251385833.
15. Application of artificial muscle e-rubber for healthcare sensing: verification of measurement properties as a smart insole. Yoneda H, Yamaga T, Fujiwara T, Komori Y, Shimada M, Kato Y, Oyama S, Shimoda S, Yamamoto M, Hirata H. Front Bioeng Biotechnol. 2025 Aug 21;13:1639630.
16. Primary nerve exploration is required in more than 10% of complete motor nerve paralysis cases associated with Gartland type III paediatric supracondylar humerus fractures : a multicentre retrospective study. Ito R, Tokutake K, Takegami Y, Okui N, Natsume T, Koh S, Tatebe M, Yamamoto M. Bone Jt Open. 2025 Jun 1;6(6):609-617.
17. Management of Ulnar Wrist Pain Without Ulnar Plus Variance: A Comparative Study of Arthroscopic Triangular Fibrocartilage Complex Repair and Ulnar Shortening Osteotomy. Tokutake K, Tatebe M, Iwatsuki K, Yoneda H, Nishikawa K, Yamamoto M. J Hand Surg Asian Pac Vol. 2025 Jun 30.
18. Patient-specific factors associated with conservative treatment failure in de Quervain tenosynovitis. Asano K, Iwatsuki K, Yokoyama H, Mabuchi M, Yamamoto M. J Clin Orthop Trauma. 2025 Jan 17;63:102923. doi: 10.1016/j.jcot.2025.102923.
19. Insights and trends review: Use of extended reality (xR) in hand surgery. Oyama S, Iwase H, Yoneda H, Yokota H, Hirata H, Yamamoto M. J Hand Surg Eur Vol. 2025 Jan 24;17531934241313208.
20. A Small Ratio of Proximal to Distal Bone Fragments Is a Risk Factor for Scaphoid Nonunion: A Volumetric Analysis of Preoperative CT. Sugiura H, Tatebe M, Yoneda H, Nishizuka T, Morita A, Yamamoto M. J Wrist Surg. 2024 Jan 31;14(3):226-232.
21. Patient-specific factors associated with conservative treatment failure in de Quervain tenosynovitis. Asano K, Iwatsuki K, Yokoyama H, Mabuchi M, Yamamoto M. J Clin Orthop Trauma. 2025 Jan 17;63:102923.
22. Impact of Antithrombotic Drug Continuation on Postoperative Outcomes in Patients with Carpal Tunnel Syndrome: A Randomised, Open-Label, Parallel Group Trial. Tsuchihashi A, Natsume T, Yamamoto M. J Hand Surg Asian Pac Vol. 2025 Apr;30(2):181-188.

- 23.Oyama, Shintaro, et al. "External Validation of an In-Hospital Mortality Prediction Model Using Comprehensive Hospital Medical Data." IOS Press, 2025. 1844-1845.
- 24.Yoneda H, Yamaga T, Fujiwara T, Komori Y, Shimada M, Kato Y, Oyama S, Shimoda S, Yamamoto M and Hirata H (2025) Application of artificial muscle e-rubber for healthcare sensing: verification of measurement properties as a smart insole. Front. Bioeng. Biotechnol. 13:1639630
- 25.Yamamoto, S., Tanei, T., Oyama, S. et al. Correlation between novel checkmark-only headache diary and productivity loss and medication effectiveness in migraine patients. Neurol Sci 47, 43 (2026).
- 26.樹下 晶弘、馬目 佳人、林 光雄、佐藤 拓、三和田 靖彦、吉川 正、道の駅での実証実験における簡易なカメラ設置による計測ソリューションの検証、VIEW2025ビジョン技術の実利用ワークショップ(20251204)

【メディア等掲載】

- 1.2025.8.25、河口信夫、未来の働き方、名古屋テレビ メーテレ
- 2.2025.11.13、吉川正、“第2回健康で楽しく過ごそう”，豊橋ケーブルテレビ ティーズ
- 3.2025.12.4、吉川正、“Robo Step「自由に働ける社会を「遠隔就労」が作る！」” 掲載
- 4.2026.2.18-2026.2.24、新城市、吉川正 他、“新城市政番組 あののんニュース”，豊橋ケーブルテレビ ティーズ
- 5.2025年度、山本美知郎、吉川正、新城市広報誌「ほのか」執筆 12回

【学会発表】

- 1.4/12 第51回日本血液浄化技術学会学術大会・総会 医療DX がもたらす医療現場の変化：医療従事者との協働と業務変革の挑戦6/8 日台大健康セミナー 日本におけるスマート医療
- 2.9/13 第56回日本看護学会 総合医療ネットワークシステムを活用した際の効果や看護業務改善への取り組み
- 3.10/24 電子情報学会 MITC研講演 国内外のIoMTトレンドと現場実装
- 4.11/23 8th International Conference on Computational Intelligence and Intelligent Systems (CIIS 2025) : Fostering Medical DX Talents through Academia-Industry Collaboration in both Nagoya and Okinawa
- 5.30th Federation of European Societies for Surgery of the Hand. HelsinkiMichiro yamamoto, Hiroaki Iwase, Shintaro Oyama, Hitoshi Hirata, Yukimi Murakami, Hideo YokotaDevelopment of augmented reality for elbow arthroscopy
- 6.日本手外科学会. 横浜. 2025 山本美知郎 岩月克之 米田英正 徳武克浩 佐伯将臣 佐伯総太 特発性前・後骨間神経麻痺の治療成績
- 7.日本手外科学会. 横浜. 2025 山本美知郎 超高齢社会における手外科診療
- 8.日本整形外科学会. 東京. 2025 山本美知郎 岩月克之 米田英正 徳武克浩 佐伯将臣 佐伯総太 キーンバック病に対する橈骨骨切り術 若年群と中高年群の比較
- 9.日本手関節外科ワークショップ. 東京. 2025 山本美知郎 手外科におけるARの活用
- 10.中部日本手外科学会. 岡山. 2026 山本美知郎 屈筋腱損傷治療のOverview
11. VIEW2025ビジョン技術の実利用ワークショップ,樹下 晶弘、馬目 佳人、林 光雄、佐藤 拓、三和田 靖彦、吉川 正

【基調講演等】

- 1.台湾.2026年3月26日 台北スポーツ産業展 TaiSPOAPEC Sports Policy Network Forum 基調講演“Creating Social Value through Powerchair Football - Toward the Future for All”3/30
台湾国立陽明国立大学 大学院 客員講義“Entrepreneurship Practice”.鈴木秀紀
- 2.台湾.2026年3月30日 台湾国立陽明国立大学 大学院 客員講義“Entrepreneurship Practice”.鈴木秀紀
- 3.東京. 2025年5月24日 .日本整形外科学会学術総会.教育研修講演 超高齢社会における手外科診療 手外科疾患 地域連携セミナー.山本美知郎
- 4.名古屋 2025年6月5日 特別講演 超高齢社会における手外科診療 神経障害性疼痛を含めて 岐阜県病院薬剤師会学術講演会.山本美知郎
- 5.岐阜. 2025年6月14日 特別講演 超高齢社会における手外科診療 疼痛治療を含めて ハンドの日講演会.山本美知郎
- 6.名古屋.2025年8月10日 講演 更年期以降に発症する手の病気について 兵庫県手外科研究会.山本美知郎
- 7.神戸.2025年9月6日 特別講演 Society 5.0～仮想空間と現実空間の融合社会～における手外科診療 第11回北海道手外科ハンドセラピー研究会.山本美知郎
- 8.札幌.2025年 9月27日 特別講演 超高齢社会における手外科診療疼痛管理を含めて 愛知県労災指定医協会研修会（特別講演会）.山本美知郎
- 9.名古屋. 2025年10月30日 特別講演 超高齢社会における手外科診療 手の外科フォーラム .山本美知郎
- 10.静岡（ウエブ） 2025年11月25日 特別講演 超高齢社会における手外科診療と神経障害性疼痛 手の外科フォーラム .山本美知郎
- 11.福井（ウエブ） 2025年12月9日 特別講演 超高齢社会における手外科診療と神経障害性疼痛 整形外科未来セミナー.山本美知郎
- 12.川崎. 2025年12月18日 特別講演 超高齢社会における手外科診療 茨城「手外科」研究会.山本美知郎
- 13.つくば. 2026年1月21日 学術講演 超高齢社会における手外科診療と神経障害性疼痛 第49回埼玉・県南東部整形外科研究会.山本美知郎
- 14.越谷. 2026年1月30日 特別講演 Society5.0における手外科診療～骨粗鬆症治療を含めて～ 豊川外科系医会学術講演会.山本美知郎
- 15.豊川. 2026年2月4日 特別講演 超高齢社会における手外科診療 疼痛管理を含めて 淡青運動器セミナー.山本美知郎
- 16.東京. 2026年2月28日 特別講演 超高齢社会における手外科診療 疼痛治療を含めて 東海口腔ケアフォーラム.山本美知郎
- 17.名古屋. 2026年3月15日 特別講演 超高齢社会における手の診療 Hand Expert Collaboration Seminar .山本美知郎
- 18.京都. 2025年3月28日 特別講演 超高齢社会における手外科診療と神経障害性疼痛.山本美知郎
- 19.東京 2025年11月4日 遠隔就労研究会、「地方自治体と描く次世代の働き方」講演、吉川正
- 20.大阪 2025年12月5日 竹中工務店ロボットセミナー 「遠隔就労・ロボットが当たり前になり活用できる時代を目指す」吉川正、基調講演
- 21.東京 2025年12月15日 竹中工務店ロボットセミナー 「遠隔就労・ロボットが当たり前になり活用できる時代を目指す」吉川正、基調講演
- 22.2026年3月3日 招待講演, “From IoT to IoR: “事実”から“現実”のインターネットへ”, WIDE Camp 2026, March 2026、米澤拓郎
- 23.2026年1月27日 招待講演, “AIoTと人 - コミュニティとのかかわり”, AIoTと人シンポジウム, Feb 2026. 、米澤拓郎
- 24.2025年11月15日 招待講演, “Internet of Realities - IoTの先へ、人々の相互理解へ向けて”, 東京大学暦本研・石黒研オープンハウス2025, Nov. 2025 、米澤拓郎
- 25.2025年8月19日 登壇発表, “From IoT to IoR 「モノ（Things）のインターネット」から「現実（Realities）のインターネット」へ”, 渋谷QWSイベント「XR×AI イベント／空間の課題を、体験で描きなおす」, August2025.米澤拓郎
- 26.2025年5月27日 Invited Talk, “Connecting Diverse Realities for Co-Well-Becoming”, Joint 2025 7th International Conference on Imaging, Vision & Pattern Recognition (IVPR) & 12th International Conference on Informatics, Electronics and Vision (ICIEV), May 2025. 、米澤拓郎
- 27.2025年5月26日 招待講演, “多様な現実の理解とそのネットワークング”, 東京大学CSISシンポジウム「AI時代の空間情報科学：都市・環境・生物への理解と発展を支える空間情報技術の最前線」, May 2025.、米澤拓郎
- 28.2025年4月23日 招待講演, “Internet of Realities: AIが拓く新たな現実とそのインターネットに向けて”, SFV SYMPOSIUM 2025, 大阪, April 2025. 、米澤拓郎
- 29.2025年3月5日 Invited Talk, “Internet of Realities: A Future of Connected People and Spaces”, APAN59, Mar 2025 、米澤拓郎

収入（会費）	¥2,760,000
前年度繰越	¥ 546,661
支出	¥2,614,827
残高	¥691,834

収支とも計画どおり

活動計算書									
令和7年		4月	1日	～	令和8年		3月	31日	まで
ミライバレーコンソーシアム									
単位:円									
科 目				金 額					
I 経常収益									
1. 受取会費									
会費(大企業)				2,400,000					
会費(大企業以外)				360,000	2,760,000				
経常収益計								2,760,000	
II 経常費用									
1. 事業費									
(1) 人件費									
人件費計				0					
(2) その他経費									
寄付金				1,000,000					
制作費				412,000					
講座開催費				402,810					
通信費				30,330					
消耗品費				31,776					
支払手数料				8,250					
その他経費計				1,885,166					
事業費計					1,885,166				
2. 管理費									
(1) 人件費									
人件費計				0					
(2) その他経費									
広報費				533,500					
会議費				67,020					
通信運搬費				2,260					
消耗品費				13,691					
支払手数料				113,190					
その他経費計				729,661					
管理費計					729,661				
経常費用計								2,614,827	
当期経常増減額								145,173	
III 経常外収益									
経常外収益計								0	
IV 経常外費用									
経常外費用計								0	
税引前当期正味財産増減額								145,173	
法人税、住民税及び事業税								0	
当期正味財産増減額								145,173	
前期繰越正味財産額								546,661	
次期繰越正味財産額								691,834	

第3回ミライバレーコンソーシアム総会
(2026/7/6) 第2号議案 報告

8法人、3個人会員（2026.6.1現在）

NO.	企業名・個人名・	種別		取り組みテーマ概要
1	株式会社技研サービス	法人	大企業以外	公共施設管理運営（つながり、リソース不足）
2	大成建設 株式会社	法人	大企業	スマートホスピタルソリューション（医療課題）
3	豊田合成 株式会社	法人	大企業	E-Rubber(健康課題)
4	トヨタテクニカルディベロップメント 株式会社	法人	大企業	バーチャル公民館（つながり、リソース不足）
5	国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学	法人	大学	コンソーシアム幹事組織（医療、健康、ライフスタイル研究）
6	株式会社 ナックイメージテクノロジー	法人	大企業以外	リアル環境データ計測（交通課題）
7	ニプロ株式会社	法人	大企業	スマートホスピタルソリューション（医療課題）
N1	奥三河まるごとキャンパス	法人	NPO	人材育成、地域活性化
P1	国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科 科長 小川朝生	個人	研究機関	せん妄対策支援（医療課題）
P2	国立がん研究センター 東病院 特任研究員 金田賢	個人	研究機関	せん妄対策支援（医療課題）
P3	国立大学法人 名古屋工業大学大学院 准教授 大塚孝信	個人	大学	見守り（健康課題）

法人は50音順、敬省略



4/17(木)名大NIC3F大会議室にて実施

- ・議案 第1号 2024年度事業報告
- ・議案 第2号 2024年度決算報告
- ・議案 第3号 コンソーシアム役員を選任
- ・議案 第4号 賛同者づくりについて
- ・議案 第5号 2025年度事業計画
- ・議案 第6号 2025年度予算計画

全議案に
関して可決

ミライバレーコンソーシアム 役員名簿

(2025.4.17現在)

【役員】

代表	佐宗 章弘	名古屋大学 副総長
副代表	勝野 雅央	名古屋大学大学院 医学系研究科 研究科長
幹事	山本 美知郎	名古屋大学大学院 医学系研究科 総合医学専攻運動・形態外科学 教授
幹事	平田 仁	名古屋大学大学院 医学系研究科 個別化医療技術開発講座 特任教授
幹事	下田 真吾	名古屋大学大学院 医学系研究科 特任教授
幹事	大山 慎太郎	名古屋大学 未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授
幹事	米澤 拓郎	名古屋大学大学院 工学研究科 情報・通信工学専攻情報通信 准教授
幹事	河野 明日香	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育科学専攻生涯発達教育学 教授
幹事	鈴木 秀紀	名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授
幹事	穴田 孝二	豊田合成株式会社 新価値事業本部 ヘルスケア事業推進室 室長
幹事	藤原 武史	豊田合成株式会社 新価値事業本部 ヘルスケア事業推進室 主監
幹事	三和田 靖彦	株式会社ナックイメーテックノロジー 技術顧問
幹事	西澤 博之	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 事業基盤改革部アドバンスプロジェクト室 室長
事務局長	吉川 正	名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授

【外部役員】

下江 洋行 新城市長

活動トピックス2:みらい健康ラボ（イオンリタケ）

テーマ 1-2

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなで作ろう！

ムーンショット型 研究開発事業

みらい健康ラボ マンスリーイベント

前かがみは危険信号！脳から読み解く姿勢と歩きの新常識

「いつまでも自分の足で歩きたい」——それは、誰もが願うことではないでしょうか。今回のみらい健康ラボでは、“歩き続ける力”を支える「脳」のはたらきに注目し、日常でできるトレーニング方法についても紹介します。元気に歩き続けるために、今からできることを一緒に学んでみませんか？皆さまのご参加をお待ちしています！

1部 みらい健康ラボ 体験シリーズ
脳科学に基づく簡単エクササイズ～脳から考えるブレない姿勢作り～

① 自分の姿勢・歩きを知ろう
② 姿勢改善のための脳トレ&エクササイズ

株式会社豊通オールライフ 理学療法士 岩澤尚人 先生 / 理学療法士 竹内信一朗 先生

2部 みらい健康ラボ アカデミー
歩けるって、とても、素晴らしいことです

旭川医科大学医学部 教授 高草木 薫 先生

4/27日 イオンモール Nagoya Noritake Garden
14:00-16:00 3Fイオンホール (定員100名さま)
お申込はこちら

ムーンショット型研究開発事業とは？
これからの日本を支える新しいイノベーションを促すため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づく研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AI ロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは？
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な、主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

LINE みらい健康ラボ 公式LINE
お友達追加をして最新情報をチェック！

主催
豊田合成株式会社 NVIDIA
株式会社電通国際情報サービス
デロイト・トーマツヘルスケア
日本電気株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社

ムーンショットプロジェクト
NGC
AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

参加費無料

みらい健康ラボ マンスリーイベント

未来の診療室を体験しよう！

6/15日 14:00-16:00
3Fイオンホール (定員100名)
【ムーンショット型 研究開発事業】

万博LIVE 生中継 生中継 生中継

事前申込制 ご希望の方はイオンモールHPからお申し込みください

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなで作ろう！

ムーンショット型研究開発事業

みらい健康ラボ

歩行とからだの痛みから分かる認知症リスク

いよいよ完成したみらいの病院、その診療室が静岡県静岡市にある中東道総合医療センターに設置されました。今回のみらい健康ラボでは、イオンモール Nagoya Noritake Garden 中東道総合医療センターを中継で生中継で、みらいの病院で治療する内容の一部である、痛みや認知の関わりについて考えます。実際の体験も名古屋と駿河川に分かれて行います。ぜひご参加ください！

1部 みらい健康ラボ アカデミー

健康寿命をデザインする：未来型ヘルスケアの幕開け

●いよいよオープンするみらいの診療室
名古屋大学 特任教授 下田真吾

●経年累年一歩が未来を変える！
～歩行と痛みのケアで始める認知症予防～
名古屋大学 特任教授 平田仁

●中東道総合医療センターが考える
医療健診のあるべき姿
中東道総合医療センター院長 宮地正彦

2部 みらい健康ラボ 体験シリーズ

歩けば分かる！体験コーナー

イオンモール Nagoya Noritake Garden
●足裏から探る！あなたの健康
豊田合成株式会社 藤原武史

中東道総合医療センター
●歩いて見つけよう！あなたの健康問題
名古屋大学 特任助教 阿部友和

8/31日 14:00-16:00
【開場】13:30 (定員100名)

会場 中東道総合医療センター 3階 大会議室
イオンモール Nagoya Noritake Garden 3Fイオンホール

ムーンショット型研究開発事業とは？
これからの日本を支える新しいイノベーションを促すため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づく研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AI ロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは？
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な、主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

LINE 公式LINE
お友達追加をして最新情報をチェック！

主催
豊田合成株式会社 NVIDIA
株式会社電通国際情報サービス
デロイト・トーマツヘルスケア
日本電気株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社

ムーンショットプロジェクト
NGC
AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

4・6・8月 みらい健康ラボ開催（イオンリタケ）

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなでつくろう！

ワンズリーイベント
ムーンショット型研究開発事業

みらい健康ラボ

健康寿命を延ばす歩き方

これまで体験しながら学んできた通り、歩くことは健康維持にとっても重要です。ただ歩けばどんどん健康になっていくというわけではありません。今回は効果的な歩き方のお話です。フジテレビ系列「Mr.サンデー」で紹介されたインターバル速歩を体験して「歩く」ということを頭とからだで一緒に学びましょう！

1部 みらい健康ラボ アカデミー
2部 みらい健康ラボ 体験シリーズ

楽しく正しく歩く
10歳若返る！「インターバル速歩」
～その背景と効果のエビデンス～
信州大学大学院医学系研究科
スポーツ医科学教室 教授 増木静江

インターバル速歩を体験しよう
インターバル速歩とは？
NPO法人熟年体育大学リサーチセンター
講師 森川真悠子

ゆっくり 歩き 3分
さっさと 歩き 3分
ゆっくり 歩き 3分
さっさと 歩き 3分
ゆっくり 歩き 3分

動きやすい服装でご参加ください！

10/11土
14:00-16:00
会場 イオンモール Nagoya Noritake Garden 3Fイオンホール (定員100名様)

参加費無料

ムーンショット型研究開発事業とは？
これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づき研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AIロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは？
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な、主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

公式LINE

主催
MIRAI VALLEY
名古屋大学
ミライバレー
コンソーシアム
NGC
NAGOYA-GARDEN-CLINIC
ナゴヤガーデンクリニック
AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなでつくろう！

ワンズリーイベント
ムーンショット型研究開発事業

みらい健康ラボ

腸は“もうひとつの脳”—あなたを支える小さな住民たち

「腸内細菌」や「腸活」という言葉を、最近よく耳にしませんか？今回のみらい健康ラボでは、「健康と腸」の最新科学をわかりやすくお話しできます。さらに体験シリーズでは、腸年齢の測定、腸を整える簡単体操、毎日の食卓に取り入れやすい腸にやさしいレシピ紹介など、すぐに役立つ実践的な内容が盛りだくさんです。腸を知ることが、自分の心と体を知ること。ぜひこの機会に、腸から元気になるヒントを見つけに来てください。

1部 みらい健康ラボ アカデミー
2部 みらい健康ラボ 体験シリーズ

健康と腸
名古屋大学大学院 医学系研究科 特任教授 水野 正明

腸活で健やかな毎日を
笑顔の毎日をいっしょに。
森永乳業グループ
健康サポート栄養士
渡辺 晃子

腸活にうれしい
ドリンクプレゼント
※イベント終了後に配布

1/18日
14:00-16:00
会場 イオンモール Nagoya Noritake Garden 3Fイオンホール (定員100名様)

参加費無料

ムーンショット型研究開発事業とは？
これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づき研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AIロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは？
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な、主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

公式LINE

主催
MIRAI VALLEY
名古屋大学
ミライバレー
コンソーシアム
NGC
NAGOYA-GARDEN-CLINIC
ナゴヤガーデンクリニック
AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

現実世界とメタバース、過去と未来、ヒトとロボットがひとつになる世界をみんなでつくろう！

ワンズリーイベント
ムーンショット型研究開発事業

みらい健康ラボ

測ってAI診断！あなた専用の健康レポートで改善ポイント発見

いま話題の生成AI。文章を作るだけでなく、私たちの暮らしや健康にも役立てることが出来ます。今回のみらい健康ラボでは、生成AIの可能性を体験してもらいます！簡単な運動計測とアンケートの結果をもとに、AIが健康状態をわかりやすく整理し、生活改善のヒントを教えてください。

1部 みらい健康ラボ アカデミー
2部 みらい健康ラボ 体験シリーズ

医師と考える、AIで支えるみんなの健康
名古屋大学 未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授 大山 慎太郎

測ってAI診断！
名古屋大学 医学系研究科 特任助教 岡島 正太郎
特任助教 阿部 友和
研究員 川端 陸

生活改善ポイントが見つかるかも？

2026
3.20 金・祝
14:00-16:00
【開場】13:30
先着100名
参加無料
事前申し込み制

会場 イオンモール Nagoya Noritake Garden 3Fイオンホール

参加費無料

ムーンショット型研究開発事業とは？
これからの日本を支える新しいイノベーションを生むため、従来の技術の延長線ではなく、大胆な発想に基づき研究開発を推進する国の大型プロジェクトです。みらい健康ラボは、そのプロジェクトの一つ「Awareness AIロボットシステム開発」を中心に運営されています。

みらい健康ラボとは？
みらい健康ラボは、最先端の科学技術によって解決可能な、主に健康に関連する私たちに身近な問題を学んだり、実際に体験したり、いろいろな活動に参加してもらうことで科学の発展に貢献できる研究室です。

公式LINE

主催
MIRAI VALLEY
名古屋大学
ミライバレー
コンソーシアム
NGC
NAGOYA-GARDEN-CLINIC
ナゴヤガーデンクリニック
AEON MALL
Nagoya Noritake Garden

10・1・3月 みらい健康ラボ開催 (イオンリタケ)

MOTION ANALYSIS OF TAIKO DRUMMING

Using Skeletal Tracking



テーマ 1-2

1 Taiko Performance



2 Skeletal Tracking



3 Motion Analysis



Decoding Human Internal Dynamics

和太鼓の鼓動と連動した、筋肉が波打ち、骨格がしなり、重心が移動する様子が裸眼3Dディスプレイを通じてリアルタイムに表示
～大阪・関西万博にて～

活動トピックス4:新しい働き方「メタワーク」の実証実験

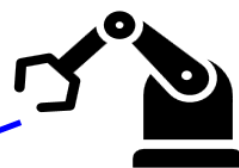
テーマ 2-1

VRゴーグルを装着し、遠隔地に設置されたロボットアームを操作することで、“**メタワーク（仮想空間での労働）**”という新しい働き方の社会実装を目指す

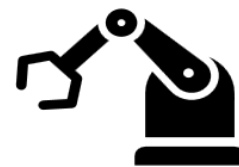
愛知県新城市と連携
作業スペースや通信環境の整備



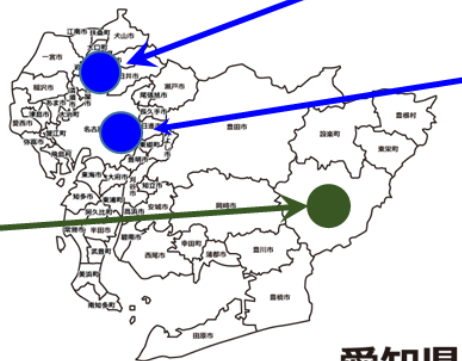
市民さん向け遠隔操作の
大規模実証実験は**初**！



(2) 北名古屋市



(1) 名古屋市



50km以上離れた場所
での遠隔操作

愛知県

遠隔操作の汎用性を検証

- (1) 名古屋大学東山キャンパス内
- (2) トラスコ中山物流センター「プラネット愛知」
に**異なる種類のロボットアームを設置**し、新城市から
遠隔作業を行う環境（メタワーク環境）を構築

市民さんの受容性の確認、課題の抽出

活動トピックス4:新しい働き方「メタワーク」の実証実験

テーマ 2-1

VRで遠隔ロボットアームを操作
新しい働き方「メタワーク」の
実証実験に参加しませんか



参加者募集

実施期間
2025年8月25日~9月7日
9:00~19:00 (1時間程度)

場所 新城市 勤労青少年ホーム 講習室 **対象** 18歳~65歳
※441-1384 愛知県新城市内入居3~2

初めてでも安心! VRを体験してみませんか?
あなたの体験が新しい働き方の実現に繋がります!
ご協力いただいた方には2,000円相当の謝礼を進呈

QRコード読み込み
参加日時を予約
事前学習
VRで実証に参加

研究主体 名古屋大学 産総研 新城市 SIP

メタワーク参加者 85

メタワーク延べ参加者 120

**バーチャル公民館®
アカウント登録者 150**

・期間 2週間 1セット 1時間の枠 **満員御礼**
・予約が埋まっていて、とれなかった方も

満足度 8.4
(10点評価)

将来、どこにいても様々な仕事
ができることに期待

自宅でも作業ができない方
のお仕事の提供できたらいいね

**他の人におすす
めしたい 8.2**
(10点評価)

この地域で実装につながる
ことを期待

・タイムラグが感じられたので、
ないと作業がしやすい
・奥行きや上下の間隔を掴む
のが難しかった
・ゴーグル少し重い、コントロー
ラ慣れていない

満足度・期待値高い 使い勝手に課題あり



- ✓ 延べ**120名の市民さん**が、遠隔地のロボットアームを操作することが出来た
- ✓ 実証実験に対して、**満足、期待値が高い**
- ✓ 「**週3 - 5日、1日1~2時間の作業**」を想定する方が多い
- ✓ **公共施設**でのメタワーク拠点のニーズ有
- ✓ **課題：操作の使い勝手の改善が必要、疲労感に対するケア**

活動トピックス5:名古屋大学・新城市 共催 講座・体験会「健康で楽しく過ごそう」

- ・人生100年時代が到来する中、「いつまでも健康で楽しく過ごそう」の想いを込めて、今年2月に続き2回目の開催
- ・いろいろな**見える化**を通じて、「はかる、分かる、気づく、変わる」を支援、**健康と楽しさを推進**
- ・名大として今後も継続実施し、**見える化と行動変容について検証**を行う

テーマ共通

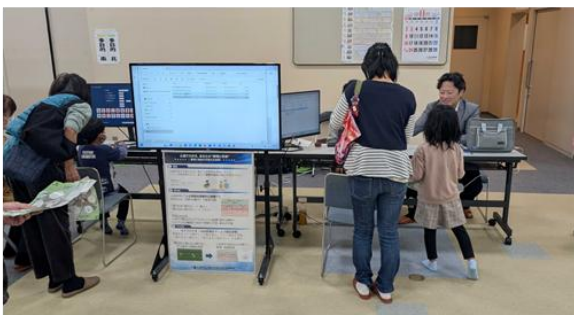
講座



実演



体験



健康で楽しく過ごそう
いろいろな「見える化」で学ぼう・感じよう・体験しよう～

講座 お医者さんから学ぼう
名大病院・名古屋大学
山本美知郎先生 下田真吾先生
大山慎太郎先生 田中真津子先生
新城市民病院
玉置国大先生
伊藤里奈先生
見える化とアンチエイジング
あいさつ 13:00～13:40
お医者さんによる講座 13:40～14:00
お医者さんに聞こう！

実演 大阪・関西万博で実演した「長篠陣太鼓」がやってくる！
演者を「最新技術」で**見える化**
14:00～14:30

心拍でわかる、あなたの「感情と性格」
見える化
地域を知AIにみんなの知識を教える
体験
遠隔でロボットを操作しよう
体・知識・技能
自分の姿勢を知ろう

11/2日
13:00～16:00【開場】12:45
会場 新城市 西部公民館(ちさと館)
愛知県新城市杉山字道目記2-1
参加無料
事前登録不要 自由出入OK

共催 名古屋大学 幹事組織 (ミライバレー・コンソーシアム)
新城市
同合せ先 事務局 吉川・沖原・野木 OMV@miraivalley-nagoya.jp

スタンプラリー (表裏)で
新城市「一七ちゃん」を
ゲット(先着100名)
健康・地域活動に関心
がある方々にも
※ご家族(お子様) 参加歓迎
¥500

健康で楽しく過ごそう

講座ゾーン
13:00～14:00
お医者さんから学ぼう

アンケートコーナー
アンケートに答えて
スタンプラリーを
完成させよう
いーじゃん券 プレゼント
(お子様はお菓子)

地域を知
AIにみんなの知識を
教えてみよう

ロボット操作
遠隔でロボットを
操作しよう

体験ゾーン
13:00～16:00

心拍でわかる
あなたの感情と性格
感情と性格

自分の姿勢を知ろう
姿勢

実演ゾーン
14:00～14:30
長篠陣太鼓 実演
演者を「最新技術」で
見える化

ご案内
入口

健康・地域活動に関心がある方（20～80歳代までの幅広い世代）と子ども、およそ80人が参加・体験し、約9割の方が、何らかの気づきを得た・次回も参加希望

活動トピックス5:名古屋大学・新城市 共催 講座・体験会「健康で楽しく過ごそう」

講座



新城市民病院や名古屋大学付属病院の医師と一緒に
アンチエイジングについて、学び考える、お医者さんに聞く

見える化とアンチエイジング ⇒ 正しい知識を学ぶ・気づく

- ・エイジングとアンチエイジング（細胞）
- ・骨とアンチエイジング
- ・アンチエイジングと認知症
- ・皮膚の見える化とアンチエイジング
- ・姿勢の見える化とアンチエイジング

実演

テーマ共通



迫力のある新城市 長篠陣太鼓の実演
最新の技術を活用した、演者の体の動きと各筋肉の動き
の見える化 ⇒ 驚き、感動

活動トピックス5:名古屋大学・新城市 共催 講座・体験会「健康で楽しく過ごそう」

体験

テーマ共通



心拍の見える化
⇒ 感情・性格を知る



技能の見える化
⇒ 将来の仕事を想像する



姿勢の見える化
⇒ 自分の姿勢
の気づき



地域の見える化
⇒ 地元の魅力の
再発見

活動トピックス6:静岡県御殿場市

スポーツ祭

テーマ 1-2
新テーマ



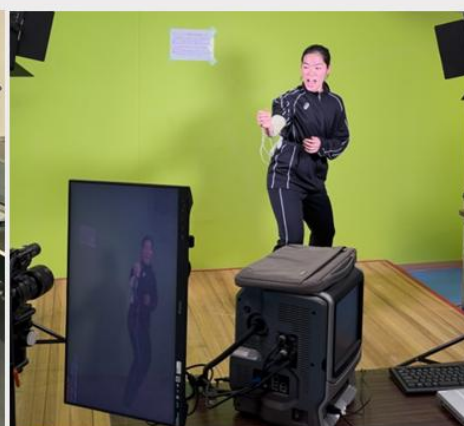
健康

スポーツ

教育

『空手のまちづくり』⇒ 空手を起点とするスポーツのまちづくり
健康・スポーツ・教育・テクノロジーの領域で産学官連携

テクノロジー

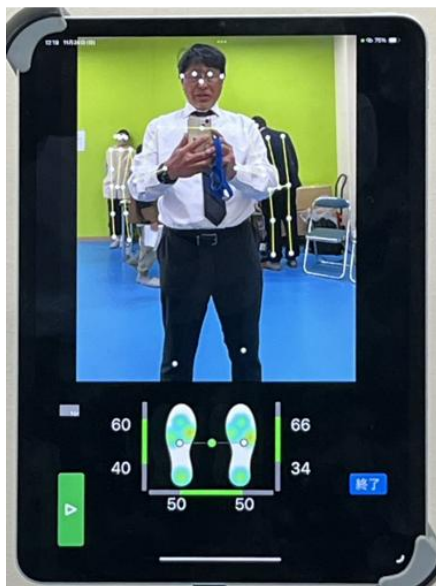


空手を起点として、健康・スポーツ・教育・テクノロジーの領域で連携

「空手道 Mt. Fuji Jr. Championship in GOTEMBA」

御殿場市空手大会会場にて、「体の動き研究ブース」を設置して、体験会を実施

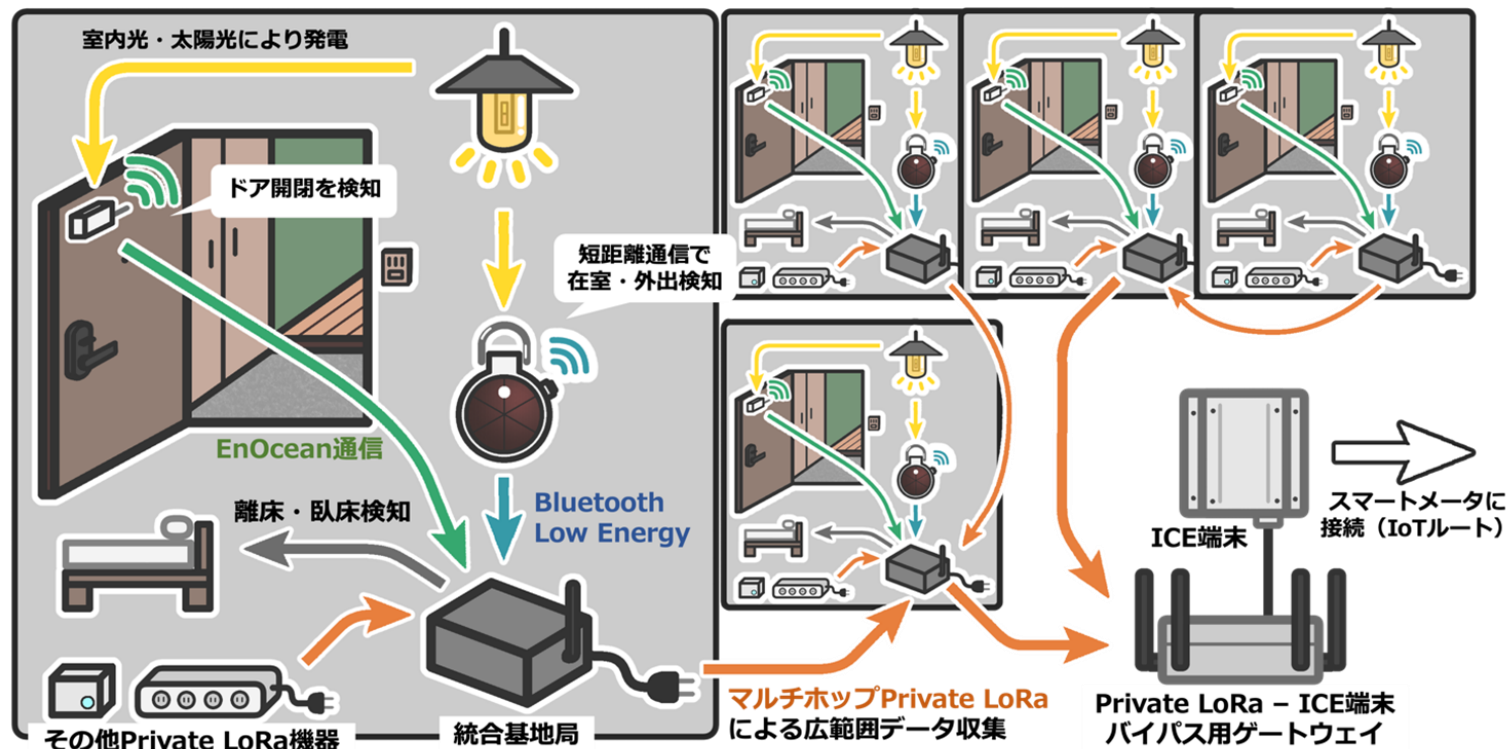
テーマ 1-2
新テーマ



異種サブGHz帯の共用利用による
自走可能な大規模行政連携システムの構築

テーマ1-1
テーマ1-3

EnOcean, BLE, Private LoRa, スマートメータ回線網を 統合した通信基盤を構築



新都市での実証実験を計画(2026年度)

EnOcean、BLE、Private LoRa、スマートメータ回線網を各通信方式の利点に応じて適宜活用し、統合・共用利用可能とすることで、日常生活ログ収集を可能とする通信インフラを構築

持続可能な電波有効利用のための
基盤技術研究開発事業(FORWARD)
新規採択
(名古屋工業大学、名古屋大学)

活動トピックス8:名古屋大学・新城市 共催 講座・体験会「健康で楽しく過ごそう」

- ・人生100年時代が到来する中、「いつまでも健康で楽しく過ごそう」の想いを込めて、
 昨年の10月に続き3回目の開催
- ・いろいろな**見える化**を通じて、「はかる、分かる、気づく、変わる」を支援、
健康と楽しさを推進
- ・名古屋大学だけでなく企業、名古屋工業大学も体験ブースに出展（7ブース）
より身近な内容で技術に触れる機会を創出

第3回 健康で楽しく過ごそう
 ～いろいろな「見える化」で学ぼう・感じよう・体験しよう～

講座 13:00～14:00
テーマ:「食と栄養」の見える化
 名古屋大学医学部附属病院・名古屋大学
 (山本孝昭先生 (内科学)) 中山真太郎先生 (放射線科)
 宮崎結晶先生 (放射線科) 山下真由美先生 (放射線科)
 下田真由美先生 (放射線科) 田中康孝先生 (放射線科)
 新城市民病院 玉置国夫先生 (放射線科) 伊藤聖孝先生 (放射線科)
 株式会社mealwell 空堀知代 代表 (栄養管理)

実演 14:00～14:30 演者を「最新技術」で見る化
 大阪・関西万博で実演した「長瀬陣太鼓」が再び登場！
 迫力ある演奏の後に 太鼓をたく 体験 ができるかも！

体験 13:00～16:30 体・知識・技能の見える化
 ・AIで自分の歩行を確認しよう(豊田合成)
 ・あなたのカラダの未来地図を知ろう(TTDC)
 ・自分の「見える化」を知ろう(ナックイメーテック/ロジー)
 ・バイタルデータを知ろう・簡単に記録(二フロ)
 ・胸の中にある腸内の活動を見よう(名古屋大学)
 ・人の気配・変化を見てみよう(名古屋工業大学)
 ・地域の知AIにみんなの知識を教えてみよう(名古屋大学)
 ・VRでロボットを操作しよう(名古屋大学)

2/15 日 スタンプラリー(東海)で
 新城市いーじゃん券
 ゲット(先着200名) **参加無料**

13:00-16:30 (開場12:45) **会場** 新城市 西部公民館(ちさと館)
 愛知県新城市村山字 鹿沼2-4

共催 名古屋大学 幹事組織 (ミライバレー・コンソーシアム)
 新城市
 ミライバレー・コンソーシアム事務局 (名古屋大学内)
 担当: 高川・海野・野木 メール: amv@mirai.nagoya-u.ac.jp

健康で楽しく過ごそう

講座 13:00～14:00
 「食と栄養」について

実演 14:00～14:30
 長瀬陣太鼓 実演！演者を「最新技術」で見る化

体・知識・技能体験ゾーン①
 13:00～16:30

地域の知 バイタルデータ
 ロボット操作 人の気配・変化
 見る力

アンケートコーナー
 アンケートに答えてスタンプラリーを完成させよう
 いーじゃん券プレゼント
 (お子様はお菓子)

体・知識・技能体験ゾーン②
 13:00～16:30

歩行を確認
 カラダ未来地図
 筋肉の活動

どちらからでも
 ご自由に



テーマ共通

講座



実演



体験

**健康・に関心がある方（10～80歳代までの幅広い世代）と子ども、
 およそ100人が参加・体験し、約9割の方が、何らかの気づきを得た・次回も参加希望**

活動トピックス8:名古屋大学・新城市 共催 講座・体験会「健康で楽しく過ごそう」

講座



新城市民病院や名古屋大学附属病院の医師及び栄養士と一緒に「食と栄養」について、学び考える、お医者さんに聞く

「食と栄養」の見える化と健康 ⇒ 正しい知識を学ぶ・気づく

- ・栄養の見える化はどこまで進んだ？
- ・骨・筋肉に効く食事
- ・脳に良い食事
- ・美肌の健康に役立つ食
- ・食の可視化
- ・宇宙食の楽しみ方

実演



迫力のある新城市 長篠陣太鼓の実演（再登場）
最新の技術を活用した、演者の体の動きと各筋肉の動きの見える化 ⇒ 驚き、感動
 ※実演後、参加者も陣太鼓をたたいてみて、楽しむ様子が見られた

テーマ共通

活動トピックス8:名古屋大学・新城市 共催 講座・体験会「健康で楽しく過ごそう」

体験



自分の「見る力」を知ろう
(ナックイメージテクノロジー)



バイタルデータを知ろう・
簡単に記録 (ニプロ)



腕の中にある筋肉の活動
を見よう (名古屋大学)

テーマ共通

あなたのカラダの未来地図
を知ろう(TTDC)



人の気配・変化を見てみよう
(名古屋工業大学)



地域の知AIにみんなの知識を教
えてみよう(名古屋大学)

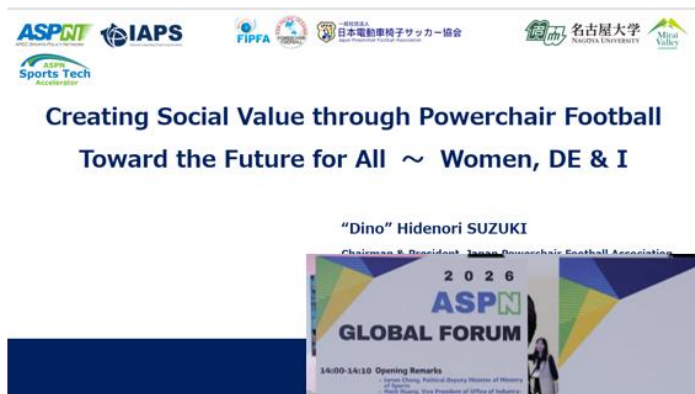


VRでロボットを操作しよう
(名古屋大学)

いろいろな見える化を体験し「分かる」「気づく」を支援

台湾最大のスポーツ産業イベントTaiSPOのグローバルフォーラムにて基調講演を実施

テーマ 1-2
新テーマ



台湾・国立陽明交通大学にて、大学院生向けに客員としてイノベーションについての講義を実施



活動トピックス10:第3回 産学官民連携ワークショップ

テーマ共通

- 開催日時：2026年3月19日（木）9:00~17:45
- 開催場所：名古屋大学東山キャンパス豊田講堂 第1会議室
- 参加者：計38名（産：15名(13企業)、学：12名(1大学)、官：7名(6自治体)、民：4名)
- 目的：名古屋大学が提案するテーマ「**つながり**」の**機会・質を高める「地域の知AI」の取り組み**に対し産学官民で共有・議論を行い、より具体的な内容に落としこむ
- プログラム概要：①話題提供（名古屋大学提案テーマ研究・実証内容の紹介）
②招待講演（テーマに関連する産学官民の取り組み紹介） ③グループ討議・全体発表 ④総評
- 当日の動画（公開済）：（3分版） <https://youtu.be/V0UdIE3uGdE>（1分版） <https://youtu.be/MqrzB2enHIQ>
- 結果：当日は、産学官民の枠を超え、対等に楽しく活発な議論が交わされ、
「関係人口増による地域活性化に向けた具体的な地域の見える化方針と事業化案」が出来た
- 次にやること：各自治体に事業化案を持ち帰っていただき、今後の事業企画策定に活用、産学官民の具体的な連携を検討



活動トピックス10:第3回 産学官民連携ワークショップ

総評

テーマ共通



プロジェクトリーダー
名古屋大学 大学院工学研究科
米澤 拓郎 准教授

人生は基本的には不確実性を減らすように、学んだりしていく反面、**不確実性がどんどん低くなり単調でつまない日常になりがち**と思う。子供のころはワクワク毎日すごく長い時間を感じたものが、あっというまに1日、1年が終わっていく。**セカンドキャリアを歩もうとしている方を対象**にしているのが特によいと思う。確実性が増える中で、**新しい動き、吸収、新しい関係性を作ろうとするところに繋がる**。うまく地域の魅力刺さって新しいストーリーが生まれていくのではないかと感じた。**いろんな魅力のタッチポイントに刺さる仕掛けを、それぞれの街をお互い繋げていく新しいタッチポイントのありかたをうまくみんなで出来たら**と思います。



ファシリテーター
名古屋大学 未来社会創造機構
吉川 正 特任准教授

自治体ごとに存在する**メインのアセットを活用**し、来ていただきたいターゲットを決めて体験・学びのコンテンツ、**交流人口から関係人口を増やす方策**を多様性をもった方々で議論しよいアイデアが出ました。**「地域の見える化」と「マッチング」は関係人口を創出する重要な手段**であり、今回で得られたアイデアを是非利活用していただきたいと思います。



主催者
名古屋大学 医学系研究科
山本 美知郎 教授

皆さま、お疲れさまでした。私もよい経験をさせていただきました。**日本の自治体は、それぞれ歴史と文化があります。それを生かしていける所がとても強い**と思います。企業も大学の講座もその属しているグループの中で、**何かしら文化がありますし必要**です。今日の議論を通じて、**自分が置かれている立場をいかにもっと尖らせていくこと、より個性を見せていくようなことがヒントになった**と思います。是非、明日からの生活に役立ててください。本日はありがとうございました。

③ 2026年度にむけて

基本活動項目の継続実施目標	KPI	特記事項
自治体の想いと連動したプロジェクトの企画・実施	2件以上	社会実装を見据えたテーマヘシフト
研究エビデンス 論文・学会発表・講演等	12件以上	目標値アップ
講座・ワークショップの開催	7件以上	住民の健康リテラシーを向上を目指した活動 地域活性化を目的とした活動 社会実装を見据えた活動

重点実施項目目標	KPI	特記事項
外部資金獲得（学内内部資金含む）	1件以上	社会実装を見据えたテーマを軸足
コンソーシアムの継続的な体制づくり整備	1式	更なる発展の為に名古屋大学内での機能強化 法人化企画と実施判断

第3回ミライバレーコンソーシアム総会(2026/7/6) 第5号議案 可決・承認済

ミライバレーコンソーシアム 任意団体 ⇒ 法人化 について（企画）

【背景】

連携協定を締結した自治体(1⇒2)・施設(1⇒3)・大学(0⇒1)が拡大
今後も拠点と活動テーマの拡大が見込まれる

【目的】

社会的信用・方針の執行・契約の権利・内部統制を強化し、ミライバレーコンソーシアム
として、国や財団等の補助金申請・産学官連携・知財契約を可能にする

【判断時期】

企画提示（2026.10）、臨時総会にて確認後実施判断(2026.12)
⇒判断し実施の場合、2026年度内に完了

【費用】※実施する場合

2026年度予算計画(案)12項に計上

第3回ミライバレーコンソーシアム総会(2026/7/6) 第4号議案 可決・承認済

日付	項目（場所）	分類	内容
7月	第3回総会（名古屋大学）	報告 承認	役員の選任、規約改定等 25年度活動報告、26年度活動計画
10月	理事会（名古屋大学＋オンライン）	議論	26年度上期計画進捗、課題、下期計画への反映 更なる発展の為に名古屋大学内での機能強化 コンソーシアム法人化企画提示
定例 月2	理事会（名古屋大学＋オンライン）	議論 審議	入会希望法人、個人への入会判断 新規・継続テーマ共有・ブラッシュアップ コンソーシアム法人化にむけての議論
定期	みらい健康ラボ（イオンリタケ等）	講座	未来の健康について考えるイベント
随時	プロジェクト（自治体、施設等）	実証	マッチング時に都度個別契約し実証
12月	コンソーシアム法人化企画 名古屋大学内での役割・機能の明確化 （名古屋大学＋オンライン）	判断	臨時総会にて判断 ・名古屋大学内での機能強化の説明 ・コンソーシアム法人化の可否
3月	第4回 産学官民連携ワークショップ （名古屋大学）	検討会	地域活性化を産学官民で社会実装を見据え検討
3月	理事会（名古屋大学＋オンライン）	議論	26年度実績確認、27年度活動計画

第3回ミライバレーコンソーシアム総会(2026/7/6) 第5号議案 可決・承認済

・社会実装を見据えた活動への協賛
・法人化（実施する時）
⇒ 予算を重点的に配分

第3回ミライバレーコンソーシアム総会
(2026/7/6) 第6号議案 可決・承認済

ミライバレーコンソーシアム 2026年度 予算書（案）			
自：2026/4/1 至：2027/3/31			
収入の部 (単位：円)			
項 目	No.	2026年度予算	摘 要
コンソーシアム会費（2025年度繰り越し分）	1	691,834	
コンソーシアム会費（No.3～4）	2	2,760,000	
2026年度 継続会員分	3	2,760,000	法人会員（大企業：4社、その他企業：2社）
2026年度 新規会員分	4	0	随時計上
合計（No.1～2）	5	3,451,834	
支出の部 (単位：円)			
項 目	No.	2026年度予算	摘 要
Webドメイン・サーバー使用 及び HP改修等	6	80,000	
2025年度会計報告書作成	7	110,000	発注済
第3回産学官連携ワークショップ協賛	8	160,000	発注済
第4回産学官連携ワークショップ協賛	9	160,000	
自治体ワークショップ共催	10	400,000	
名古屋大学への寄付	11	1,000,000	コンソーシアム環境整備費
法人化	12	1,000,000	
その他広報、消耗品等	13	140,000	
合計（No.6～13）	14	3,050,000	
収入-支出の部 (単位：円)			
項 目	No.	2026年度予算	摘 要
収 益（No.5 - No.14）	15	401,834	

END